

要項

**第 60 回 中村勇作杯 群馬県空手道選手権大会一組手の部**  
**第 51 回 群馬県小学生空手道選手権大会一組手の部**

1 主催 群馬県空手道連盟  
 2 後援 群馬県、群馬県教育委員会、(公財)群馬県スポーツ協会、前橋市、前橋市教育委員会、前橋市スポーツ協会、上毛新聞社、群馬テレビ、NHK前橋放送局、群馬県武道振興会

3 日時 **令和7年4月13日(日)**

4 会場 ALSOKぐんま武道館(大道場、第2・3道場) / 第2・3会議室

5 種目 《計20種目》

◆男子個人組手(高校生、軽量級、中量級、重量級[含無差別級] / 統一戦)

◆女子個人組手(高校生、一般 / 統一戦)

◆小学生 男女 個人組手(学年別)

6 大会進行 役員集合 8:00  
 選手受付 8:30 ~ 9:00  
 審判会議 9:00  
 開会式 9:30  
 競技開始 9:45  
 閉会式 16:00

7 競技規定 (公財)全日本空手道連盟(以下「全空連」と記す)競技規定とする。

◆男子個人組手・女子個人組手について

(1) 組手競技は、トーナメント方式とする。

① 統一戦以外の試合について

(ア) 競技時間は、ベスト8決めまでは1分30秒、準々決勝からは2分間とする。

(イ) ベスト8決めまでは6ポイント差で勝敗を決する。

(ウ) 準々決勝からは8ポイント差で勝敗を決する。

(エ) 同点の場合は競技規定により勝敗を決する。

② 統一戦について

競技時間は、2分間とする。8ポイント差で、同点の場合は競技規定により勝敗を決する。

③ 男子個人組手は、高校生の部と一般の部に分け、一般の部は階級制とする。

・高校生(高校に在籍していない者は、競技企画運営委員会に要相談)

・軽量級(体重65kg未満の者)

・中量級(体重65kg以上75kg未満の者)

・重量級(体重75kg以上の者、及び無差別級の希望者)

※軽・中量級については、制限体重の2kgまでの超過は、認める。

※無差別級の体重制限はない。

※高校生と各階級の優勝者(計4名)で、統一戦を行う。

※統一戦は抽選を行う。

④ 女子個人組手は、高校生の部と一般の部に分ける。

※高校生と一般の部の上位2名(計4名)で、統一戦を行う。

※統一戦は、各部の1位と2位が、まず当たるように抽選を行う。

(2) 安全具を装着すること。(全空連検定品)

- ① ニューメンホーV~VII
- ② 拳サポーター(赤・青)
- ③ ボディープロテクター(全員着用)
- ④ セーフティカップ(男子のみ)
- ⑤ インステップガード、シンガード
  - { 高校生…高体連指定品
  - { 一般……高体連指定品、全空連検定品、WKF公認の赤青

◆小学生 男女 個人組手について

(1) 組手競技は、トーナメント方式(3位決定戦を行う。)とする。

- ① 競技時間は1分30秒のフルタイムとする。
- ② 競技は6ポイント差とし、同点の場合は競技規定により勝敗を決する。

(2) 安全具を装着すること。(JKF公認)

- ① ニューメンホーV~VII
- ② 拳サポーター(赤青のリバーシブルのみ使用可)
- ③ ボディープロテクター
- ④ セーフティカップ(男子のみ。2年生以下は、指導者の判断に委ねる。)
- ⑤ インステップガード・シンガード(全空連検定品)

- 8 審判員 群馬県空手道連盟公認審判員
- 9 参加資格 「群馬県空手道選手権大会一形の部 要項」に同じ。
- 10 参加制限

(1) 各種目の出場チーム数、選手数は以下の通り。

◆男子個人組手・女子個人組手について

- 高校生(男・女)……………各8名以内
- 一般男子……………各階級4名以内
- 一般女子……………4名以内

◆小学生男女個人組手について……………各4名以内。

※全日本少年少女空手道選手権大会への推薦出場者はこの数に加えない。

※小学生組手競技出場者は形の部へのエントリーはできない。

- (2) 選手の変更は「補欠選手申込書」に記載のものに限り変更を認める。
- (3) 所属団体について、その重複登録は認めない。

- 11 表彰 「群馬県空手道選手権大会一形の部 要項」に同じ。
- 12 参加申込 「群馬県空手道選手権大会一形の部 要項」に同じ。
- 13 参加条件 「群馬県空手道選手権大会一形の部 要項」に同じ。
- 14 事故の処置 「群馬県空手道選手権大会一形の部 要項」に同じ。

15 備考 「群馬県空手道選手権大会一形の部 要項」に同じ。

—  
—  
—  
—